
■■ レインボーリボン メールマガジン 第19号

■■ 子どもの笑顔が見たい私たち、地元で頑張っています！

2015/10/31

こんにちは(^)代表の緒方です。

まずは葛飾区、近隣にお住まいの皆さまへのイベント情報です。

「子ども子育てフェスタかつしか2015」が11月23日(月・祝)午前10時から午後4時まで、健康プラザかつしか(子ども総合センター)にて開催されます(^o^)

Facebookのページ↓

<https://www.facebook.com/かつしか子育てネットワーク-718191784893464/?fref=photo>

乳幼児、小学生から若者、その親、祖父母の皆さんも楽しめる企画、役に立つ情報がいっぱいフェスタです(^)

これは「かつしか子育てネットワーク」の設立10周年を記念しての一大事業で、シンポジウム「子どもにやさしいまちづくり～ゆっくり子育て・ゆったり子育て～」(午後1時～3時)には青木克徳葛飾区長、教育学者の汐見稔幸さんもいらっしゃいます！

1年半に及ぶ準備がいま、佳境を迎えております(@_@;))

レインボーリボンは法人化してすぐ子育てネットワークに参加し、1年目の新米でありながら副実行委員長の席に座らせていただき、アタフタ、オロオロと10年選手の先輩方の背中を追いかけてきました(^_^;))

準備のすべてが本当に、すご〜く勉強になります！

実行委員長はネットワーク代表で、NPO法人かつしか子ども劇場理事の篠原淑子さん。仕事も頭の回転も、自転車もものすごく早くて、本当についていくのがやっとなのですが(^_^;))、篠原さんはじめ子ども劇場のボランティアの皆さんを見ていると、レインボーリボンも最低10年は頑張っ、こんな姿になりたいなあと感じます。

子ども劇場は全国各地に設立されているNPOです。

長い伝統を持っていて、ドラッガーの「非営利組織の成果重視マネジメント」(ダイヤモンド社)では日本を代表する非営利組織のケース・スタディとして取り上げられています。全国的なネットワークを生かして子どもたちに舞台鑑賞など本格的な芸術体験を提供している組織ですが、各地の子ども劇場がすばらしいのは、ドラッガーのイノベーション理論に

沿って言えば、常に「ミッション（使命）」と「顧客（NPOの活動によって生活が改善される人）」を意識し、組織と活動を見直す改革（イノベーション）を起こし続けていることです。

子どもたちがネット依存、ネット中毒の危機に曝されていることにいち早く警鐘を鳴らしたNPO法人子どもとメディアも、1999年、子ども劇場福岡県センターの呼びかけで発足しました。

<http://komedia.main.jp/index.html>

貧困家庭の子どもが無料で学習支援を受けられる寺子屋、親が仕事に出ているひとりぼっちな夜にボランティアの大学生たちと過ごせる居場所作りなど、子どもの貧困問題に取り組むネットワークが全国に広がる先駆けとなったのも、やはり京都の子ども劇場から1999年に組織改編した「山科醍醐こどものひろば」です。

<http://www.kodohiro.com/>

私たちが葛飾で頑張ります(^_^)

来年1月から始まる、子どもの貧困について学ぶ連続講座の日程が固まりましたので、ここでお知らせします。まだ受講受付は始まっていませんが、仕事のお休みを調整できる方はぜひ、下記の5日間、予定してください。こんな豪華な講師陣、二度とそろいませんよ～！

「かつしか区民大学 いのちの居場所を求めて——子ども支援ボランティア講座」

〔全5回 午後2時～午後4時〕

第1回 平成28年1月18日（月）地域に「居場所」を作る：栗林知絵子さん（NPO法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク）

第2回 1月25日（月）児童養護施設、家庭訪問型子育て支援の現場から：笹尾正乃さん（家庭訪問型子育て支援ホームスタート）

第3回 2月2日（火）「学校が苦しい」フリースクールで育つ子どもたち：奥地圭子さん（東京シューレ葛飾中学校校長）

第4回 2月8日（月）「居場所」を求めて危険に近づく子どもたち：橘ジュンさん、KENさん（NPO法人BONDプロジェクト）

第5回 2月15日（月）子どもの貧困と葛飾の「居場所」を作る取り組み：石原啓子さん（ハーフタイム、かつしか子ども・若者応援ネットワーク）

（代表 緒方美穂子）